Venus Survival

Team : Seekers

目次

- ・選んだ課題
- ·課題背景
- チームの目標
- ・目標を達成するために
- ・まとめ



一緒に金星を探検

選択した課題

中級「高度」「宇宙探査」「ハードウェア

金星を探査する理由

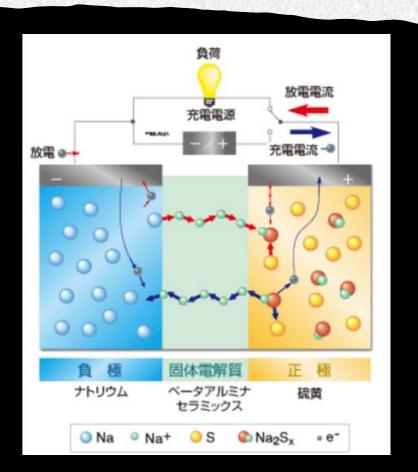
	金星	地球	火星
太陽との距離	1億820万km	1億4960万km	2億2794万km
大きさ(半径)	約6052km	約6378km	約6779km
質量	4.869×10^24 kg	5.974×10^24kg	0.64169×10^24 kg

・太陽系の中では唯一地球とほぼ同じ大きさと 質量を持っているため、地球と同時期に似たような姿で 誕生したと考えられている

目標

金星環境における60日間の電力供給システムを設計する

NAS電池(ナトリウム硫黄電池)の仕組み



- ・固体電解質の中をナトリウムイオンが 移動できる特性を利用
- ・NaとSを液体状態に保つために 高温環境下でないといけない



金星の表面温度は475℃

NAS電池(日本ガイシ)

• 直径:9cm

• 長さ: 50cm

• 重さ:5kg

• 電圧: 2V

ワット時: 1080Wh

・自然放電無し

· 300°Cで利用可



金星環境におけるNAS電池の有効性

・電圧密度から電力を求めた

電圧密度:36W/kg、NAS電池の重量が5kgであるため、

電力[W]=36×5=180W

- ワット時 : 1080Wh

ローバの動作電力が180Wだった場合:1080÷180=6h

60日間使用したい場合:6÷60=0.1h=10min

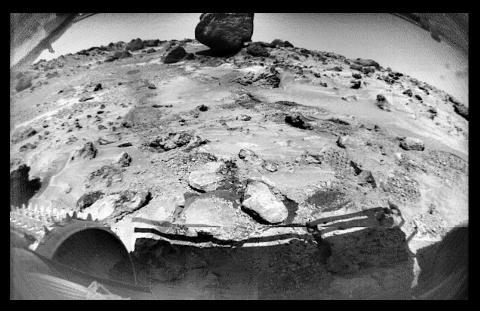
60日間電力を供給するには1日10分間使用可能であると推測した

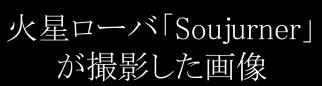
火星ローバについて

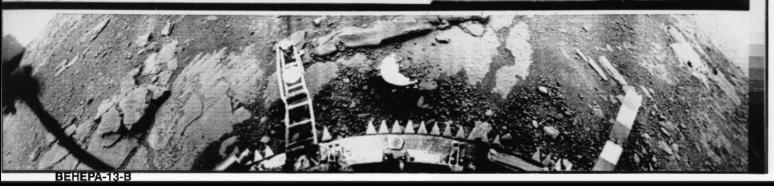
- バッテリー:8~11 ∨ (3つで)
- 重量: 10.6 kg + 5 kg (取付 展開装置)
- 全長:68 cm 幅:48 cm
- 高さ: 28 cm
- 速度: 1.0 cm/s
- ホイール直径:13 cm



火星と金星の表面の比較

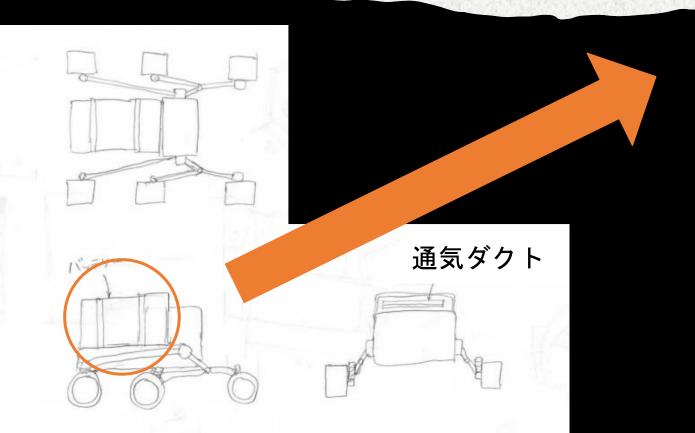


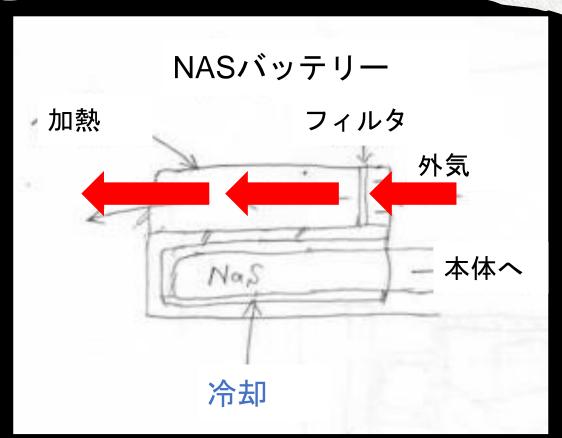




金星ローバ「Venera」 が撮影した画像

ローバーのデザイン





まとめ

- 1)NAS電池を1個組込み、1日10分間であれば、 ローバを動かすために必要な電力を供給することが 可能である
- 2)ローバに必要な電力が低くなる場合、NAS電池の 受容性はさらに高まる



ご清聴ありがとうございました

参考文献

```
https://www.jaxa.jp/article/special/explore/imamura01_j.html
https://www.jaxa.jp/countdown/f17/overview/venus_j.html
https://www.nasa.gov/audience/foreducators/k-
4/features/F_Measuring_the_Distance_Student_Pages.html
https://mars.nasa.gov/msl/surface-
experience/?drive=2176&inSitu=false&site=82
https://solarsystem.nasa.gov/missions/venera-13/in-depth/
https://mars.nasa.gov/MPF/roverpwr/power.html
https://tenbou.nies.go.jp/science/description/detail.php?id=100
https://d2pn8kiwq2w21t.cloudfront.net/documents/mpf_bQIcJKD.pdf
https://ntrs.nasa.gov/citations/20130010972
https://arc.aiaa.org/doi/abs/10.2514/6.2011-7268
https://www.ngk.co.jp/product/nas-about.html
```